

令和5年度 江戸川区立上小岩第二小学校 学校関係者評価 年度当初・中間報告書

学校教育目標	上二の子どもはやり通す ○やり通す心・・・よく学ぶ子(今年度重点)、思いやりのある子、よく働く子	目指す学校像 目指す児童像 目指す教師像	○安全・安心な学校、保護者・地域から信頼される学校 ○明るく元気に学び合える児童 ○教職員が協力し合い、互いに磨き合う教師
前年度までの学校経営上の成果と課題	<成果>「確かな学力の向上」では、既習事項の確実な定着を行うことによって意識的な取組が少しずつ成果へと結びつき学力向上がみられる。「地域資源を活かした教育」では、「心のふるさとづくり」として総合的な学習の時間及び生活科と関連付けて、教育課題実践推進校として研究は発表会を行った。その結果、地域への愛着形成を育むことができた。 <課題>学習規律の徹底(話の聞き方、姿勢)、自ら進んで挨拶や返事をする、体力向上に向けた運動量の確保、基礎学力の向上等		

教育委員会重点課題	<取組項目>・評価の視点	具体的な取組	数値目標	自己評価		学校関係者評価		年度末に向けた改善策
				取組	成果	成果と課題	評価	
学力の向上	<学力の向上> ・誰一人取り残さないための学力向上アクションプランに基づいた授業改善の推進、学習の基盤となる基礎・基本の確実な習得、家庭学習習慣に対する学校の組織的な対応による取組の実施・充実	①放課後補習教室の効果的な活用 ②「上二小学習の約束」を各学級・専科で徹底して実施 ③江戸川っ子スタディウィークの効果検証	・東京ベーンシッドリル診断テストでの学校全体の平均正答率を70%以上とする。 ・学習規律アンケートにおける肯定的回答80%以上 ・各学期毎に行う江戸川っ子スタディウィーク後の実施率9割以上					
	<読書科の更なる充実> ・読書を通じた探究的な学習の実施・充実 ・読書科と総合的な学習の時間・生活科等との連携強化 ・学校図書館の整備、学校図書館を使った授業の充実	①江戸川区の読書科指導の工夫・改善に向けた研修会に参加 ②学校図書館利用の充実(低・月3日、高・月2回以上の活用)及び実施した際の進捗への記入 ③学校司書を活用した読書活動を学期に3回以上実施(学校図書館での読み聞かせや学習支援等) ④読書科の授業で探求的な学習を学期に1回以上取り入れる	・江戸川区の読書科指導の工夫・改善に向けた研修会の校内伝達研修を年2回以上実施 ・学校図書館利用率を100%とする。 ・学校司書を活用した読書活動を学期3回以上100%実施する。 ・児童アンケートでの「読書科を通して探求的な学習が楽しかったですか。」に対する肯定的な回答を70%以上に上げる					
	<新しい教育の充実と推進> ・一人一台端末を活用した個別最適な学びの実現	①ICT活用に向けた教職員研修会の実施 ②各教科の予習復習、調べ学習でのマイルストーンの積極的活用	・毎月1回以上のICT活用研修会の実施、ICTに関する児童アンケートでの「ICTを活用した授業は分かりやすいですか。」に対する肯定的な回答80%以上にする					
体力の向上	<運動意欲や基礎体力の向上> ・健康、体力の向上に向けた外遊びの励行及び運動遊び	①体育実技研修会を実施 ②主体的な活動を促すため、休み時間を活用した運動遊びの充実	・体育実技研修会を年3回以上実施する。 ・「体を動かすのが楽しい」と感じる児童の肯定的な回答85%以上					
	<わくわくタイムの充実> ・体力テスト結果における分析、活用の充実	①年間35回以上のわくわくタイムの実施 ②体力テスト結果での課題のある動き(投げの動き、持久力等)の指導の工夫	・体力テストにおける結果を全種目において東京都の平均以上に上げる					
共生社会の実現に向けた教育の推進	<特別支援教育の推進> ・ユニバーサルデザインの視点を取り入れた応じた指導の実施・充実 ・エンカレッジルームの活用促進 ・副籍交流、交流及び共同学習の実施・充実	①「上二小ユニバーサルデザインのポイント」に基づいた各学期1回以上の定期的な環境改善の実施 ②支援を要する児童の教職員相互の情報共有の実施 ③お便り等の交流を通して外部機関との連携を図る。	・特別支援教育の視点を取り入れた授業自己チェックリストにおいて90%以上が良好な状態とする。 ・巡回指導員、心理士等の助言を学級経営に生かしているが8割以上にする。 ・月1回のお便りを校内に掲示する。					
子どもたちの健全育成	<子どもたちの健全育成に向けた取組> ・不登校対策の実施・充実 ・教育相談の強化 ・hyper-QUの活用	①不登校児や家庭に課題のある児童に対し、SSWやSSとの連携を図るとともに、不登校対策委員会での対応を検討し、実行する。 ②スクールカウンセラー等との教育相談を実施する。	・月1回以上SSWとの連絡会を開催し、学校での児童との共有をする。 ・教職員アンケートで、90%以上が「情報を共有し、組織的に対応できた」と回答する。					
	<いじめの未然防止> ・いじめの未然防止に向けた魅力ある学校づくりの取組の充実	①各学期1回、いじめアンケートを実施し、児童指導やいじめ防止に活用し、未然防止や早期発見に役立つ。	・「ふれあい月間」で「思いやり」「友情」について年3回道徳の授業を実施し、いじめは許されぬことだという意識を高める。					
地域に広く開かれた学校(園)の実現	<自校の取組の積極的な発信> ・学校ホームページ等の充実 ・学校公開の実施・充実	①学校ホームページ・totoruで情報発信をすることによって学校での様子や情報を周知する。 ②学校公開や学習発表会で児童の成長の様子を公開する。	・毎日ホームページを更新し、月1回以上学校だよりや学年だよりで伝える。 ・年間5日の学校公開や運動会・学習発表会を実施する。					
	<学校関係者評価の充実> ・教育活動の改善・充実に向けた学校関係者評価の実施	①学校評議員会を年3回実施し、学校の教育活動の情報発信及び地域の方々の思いや考えの共有化を図る。	・学校関係者評価における中間評価及び最終評価時における肯定的な回答が90%以上とする。					
	<関係機関との関係強化> ・学校応援団・すくすくスクールとの連携の充実	①定期的なPTA役員会及び全体会の実施及び情報共有の場の設置 ②PTA・すくすくスクールとの情報共有の場の設定	・PTAからの情報発信を毎回totoruで実施する。 ・PTA各委員会・すくすくスクールとの情報共有の場の設置を90%以上とする。					
特色ある教育の展開	<地域の資源や人材を生かした学習> ・地域資源を活用して自ら課題を見だし、課題解決に向けてやり通すことのできる児童の育成	①地域の資源を活かした授業づくりと人材活用マップの作成	・校内研究で年間4回の授業・協議会を開く。 ・各学年で地域資源を活用した授業を2回以上行う。					
	<学校における働き方改革プラン> ・実効性のある働き方改革の実施	①校務分掌精査及び作業効率を上げるための仕事の見直しによるライフワークバランスの向上	・月1回の定時退勤日の設定、超過勤務時間制限の見直しによる					